

藤川小学校いじめ防止基本方針

【学校教育目標】
心豊かでたくましく 自ら学び考え 主体的に実践する藤川っ子の育成

- 【家庭・地域連携】
- 学級PTA
 - 家庭教育学級
 - 子ども育成会
 - スポーツ少年団

【いじめ対策委員会】
(目的) 児童が安心して学校生活を送ることができるよう、いじめの未然防止に学校全体で取り組むとともに、いじめが起きた場合は、組織的かつ迅速にこれに対処する。
(構成) 校長、教頭、生徒指導係、養護教諭

- 【関係機関連携】
- 市教育委員会
 - 地域PTA連絡協議会
 - 駐在所

- ・学級経営の充実
- ・ソーシャルスキルトレーニングの実施
- ・道徳教育の充実
- ・毎月のいじめアンケートの実施
- ・縦割り班活動の実施
- ・児童会を中心とした主体的な活動の推進
- ・インターネットやメール・ライン等のモラル教育の推進
- ・行事などの事前事後指導の充実

【いじめ防止に対する取組】

教職員	1 いじめを許さない体制の確立と児童への周知徹底 2 いじめ問題についての研修の確立 3 児童の正確な実態把握と教職員の共通理解
児童	1 他者の良いところを理解し、認め合える力の育成 2 規範意識の高揚とコミュニケーションを図る能力の育成
保護者	1 全体PTA、学級PTA、家庭教育学級、家庭訪問での「いじめ防止」についての共通理解 2 緊密な連携協力体制の構築

【いじめの早期発見に対する取組】

教職員	1 いじめのない学校作りの日（毎月のアンケート実施） 2 教職員相互の積極的な情報交換や情報共有 3 児童の交友関係や日常の児童の様子把握
児童	1 アンケート等に自由に答えることができる環境作り 2 日記や生活ノート、日常の会話等による変容の把握
保護者	1 いじめ対策必携（家庭生活でのいじめられている子の出すサイン）のチェックリストによる子どもの実態把握 2 家庭訪問・教育相談による定期的な情報交換

【いじめに対する取組】

教職員	1 素早い事実確認と関係機関との連携・相談 2 いじめ対策委員会を中心とした組織的な対応 3 被害児童への支援及び加害児童への対応
児童	1 被害児童への聞き取りと寄り添える体制作り 2 加害児童への聞き取りと自らの行為の責任の自覚
保護者	1 被害児童・加害児童の保護者との事実関係の確認といじめをやめさせ再発を防止するための対応について協議 2 心理的な孤立や疎外感を与えないような支援体制の確立

- ・職員会議や職員朝会、連絡会等における情報交換
- ・家庭訪問や教育相談の充実
- ・職員研修の充実
- ・学校ネットパトロールの活用
- ・啓発資料の活用
(いじめ対策リーフレット・ネットいじめ対策リーフレット)
- ・各種専門機関との連携
- ・中学校との連携

【年間計画】

月	計画及び評価	実態把握	各教科・道徳・特別活動等	情報モラル関連	児童会活動	教育相談	職員研修等
4	年間活動計画の確認	アンケート	「いじめ問題」を考える週間	指導計画の確認	1年生を迎える会	家庭訪問	学校基本方針の確認
5		アンケート	一日遠足・修学旅行の実施	情報モラルの学習	みんなで遊ぶ日		小中連絡会 I
6		アンケート	ひまわり週間の実施	利用実態調査	前期児童総会		
7	1学期の取組の反省	アンケート	中期交流学習	保護者への啓発	みんなで遊ぶ日	教育相談	生徒指導事例研修
8	2学期の取組の検討				みんなで遊ぶ日		人権教育講演会
9		アンケート	「いじめ問題」を考える週間	児童への全体指導	みんなで遊ぶ日	教育相談	
10		アンケート	学級活動(ぼく・わたしの悩み)	情報モラルの学習	みんなで遊ぶ日		
11		アンケート	道徳一斉授業参観の実施		後期児童総会		
12	2学期の取組の反省	アンケート	ひまわり週間(人権週間の実施)	利用実態調査	みんなで遊ぶ日	教育相談	生徒指導事例研修
1	3学期の取組の検討	アンケート	「いじめ問題」を考える週間	児童への全体指導	みんなで遊ぶ日	教育相談	
2	次年度の計画案作成	アンケート	前期交流学習		みんなで遊ぶ日		生徒指導事例研修
3	年間の活動の反省	アンケート		利用実態調査	6年生を送る会	教育相談	小中連絡会 II